日本肥満学会誌「肥満研究」投稿規定

1. 投稿原稿の種類

投稿原稿は，肥満および肥満症に関連する総説，原著，短報，症例報告，トピック，レター，特別寄稿などとする．原著，短報，症例報告は未発表の内容に限る．

総説（Review）：ひとつのテーマに関連する多くの研究論文の総括，評価，解説

原著（Original article）：新知見や創意が含まれる研究の報告

短報（Short article）：原著に準ずる研究の速報

症例報告（Case report）：興味深い症例の報告

トピック（Topic）：興味深い話題や知見の紹介

レター（Letter）：編著者への意見，提案など

特別寄稿（Special article）：刊行編集委員会からの執筆依頼

2. 投稿原稿の筆頭著者と責任著者は原則日本肥満学会員に限る．ただし，編集委員会の合意があれば，日本肥満学会非会員に寄稿を依頼することを可とする．

3. ヒトを対象とする研究報告は「ヘルシンキ宣言 *[1]（1964 年採択，最新の修正版を参照のこと）」の精神に則っており，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 *[2]（令和 3 年 3 月 23 日制定，最新の改正版を参照のこと）」を遵守している必要があり，そのことを文中に明記する．また該当する場合「遺伝子治療等臨床研究に関する指針 *[3]（平成 31 年 2 月 28 日制定，最新の改正版を参照のこと）」も遵守している必要があり，そのことを文中に明記する．全ての研究は，倫理委員会の承認を得たうえで，承認番号の報告を必要とする．患者情報の含まれる研究報告については患者のプライバシーに配慮し，インフォームドコンセントを得ていなくてはならない．

*[1] ヘルシンキ宣言 https://www.med.or.jp/doctor/international/wma/helsinki.html

[2] 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針，[3] 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html

4. 投稿にあたって，共著者を含めたすべての著者は，投稿時点の前の年から過去 3 年間における利益相反（COI）について，日本肥満学会「発表者の COI 報告書」にて 1 名につき 1 枚作成し，日本肥満学会「肥満研究」編集部へ提出する．また，利益相反について論文の所定の箇所に記載する．COI 状態がない場合は，「本論文の研究内容に関連し，開示すべき他者との利益相反を有さない」の文言を記載する．COI については，投稿時点における最新の日本肥満学会の「利益相反（COI）に関する共通指針」を参照すること．

参照：日本肥満学会 https://www.jasso.or.jp/contents/download/index.html

5. 動物を用いた研究報告は実施機関の動物実験指針に則っており，施設の動物実験委員会等の承認を得たうえで，承認番号の報告を必要とする．

6. 投稿の際には「投稿確認･同意書」に必要事項を記載のうえ，責任著者が署名したものを添付する．

7. 原稿の長さ

原著，総説，特別寄稿は原則として刷り上り 10 ページ（20,000 字，10,000 words）以内とする．短報，症例報告，トピック，レターなどは刷り上り 3 ページ（6,000 字，3,000 words）以内とする．図表は 1 点を 400 字に換算する．

8. 原稿作成要綱

原稿は次の要領に従って作成する．

1）原稿の体裁：全て和文または全て英文とする．原稿は A4 判横書きとし，ページすべてに通し番号をつける．原稿ファイルは，表題ページ，要旨，本文，文献を 1 つにし標準的な形式（docx 等）で作成する．英文の場合は原則として英文校正をうけること（証明する書類を求める場合がある）．

Presented by Medical*Online

2）表題ページ：表題，著者名，所属機関名，キーワード（5 個以内），責任著者連絡先，ランニングタイトル，原稿枚数，図表の数を記す．英文提出の場合は，以上を全て英文のみで記載する．和文提出の場合，表題，著者名，所属機関名は，和文，英文とも記載する．

3）要旨（Abstract）：原著および総説（総説企画を除く）では，背景・目的（Background and Purpose），方法（Methods），結果（Results），結論（Conclusion）の順に記載する．和文論文は，和文 800 字以内，英文 400 words 以内の両方を作成する．英文論文は英文 400 words 以内のみを作成する．

4）本文：原著では，原則として，「要旨（Abstract）」に続いて「はじめに（Introduction）」「方法（Methods）」「結果（Results）」「考察（Discussion）」「結論（Conclusion）」「謝辞（Acknowledgements）」「文献（References）」の項目順に記載する．原著以外の原稿については，項目名，区分を自由とする．原稿中の用語は日本医学会編「日本医学会医学用語辞典　英和・和英」により，略語は初出のときに正式用語を用い，（　　）に略語を記す．度量衡の国際単位 SI JIS Z 8203（2019）を原則とする．

5）文献：文献は本文中の引用箇所の右肩に引用順に番号をつけ，下記の例に従い本文の最後に一括して記載する．著者は最初の 3 名を記し，あとは「ほか」（英文では et al.）とする．雑誌名の略記は和文の場合は，原則として医学中央雑誌刊行編「医学中央雑誌目録：略名リスト」，英文の場合は Index Medicus を参照とする．ただし，本誌は略記も「肥満研究」とする．

【記載例】

〈学術雑誌〉著者名（3 名まで），表題，雑誌名，発行年（西暦），巻：頁–頁．

例 1）徳永勝人，中村　正，松澤佑次ほか：内臓脂肪症候群．日内会誌 1992, 81: 1831–1835.

例 2）Stunkard AJ, Harris JR, Pedersen NL, et al.: The body-mass index of twins who have been reared apart. N Engl J Med 1990, 322: 1483–1487.

〈単行本〉著者名（3 名まで）：表題．編者名．書名．発行所所在地：発行所，発行年（西暦），引用頁–頁．

例 1）吉田俊秀：肥満における熱産生機構の異常．池田義雄，井上修二編．新版肥満の臨床医学．東京：朝倉書店，1993, 21–31.

例 2）Stunkard AJ: Talking with patients. Stunkard AJ and Wadden TA (eds): Obesity: Theory and therapy. 2nd ed. New York, Raven Press, 1993, 355–363.

6）表は，本文と別ファイルで，編集可能な形式（xlsx，docx 等）にする．表には，通し番号（表 1，表 2 など）と日本語の説明文をつけ，本文中に挿入箇所を（表 1）等で明確に指定する．

7）図・写真は，本文，表と別ファイルとする．図には，通し番号（図 1，図 2 など）と日本語による説明文をつけ，本文中に挿入箇所を（図 1）等で明確に指定する．

9. 原稿の送付

1）電子投稿を原則とする．

2）電子メールは，日本肥満学会事務局「肥満研究」編集担当 宛 info@jasso.or.jp とし「肥満研究」投稿原稿であることを端的に記載する．添付ファイルとして，①カバーレター（編集委員長宛，原著，短報，総説，症例報告，トピック，レターの別，論文内容のアピール，著者の連絡先等），②原稿，③表，④図・写真，⑤投稿確認・同意書，⑥日本肥満学会「発表者の COI 報告書」を含むこと．

宛先

メール題名：【日本肥満学会】「肥満研究」投稿論文

日本肥満学会事務局「肥満研究」投稿論文担当 宛

E-mail：info@jasso.or.jp

問い合わせ先：TEL：06-6978-8760

Presented by Medical*Online

10. 投稿原稿の採否は査読審査をした後，編集委員会で決定する．投稿原稿の査読審査報告後，原則として3ヵ月以上経過してから再投稿された原稿は，新規投稿原稿とみなす．
11. 校正
    著者校正は1回とする．
12. 掲載料
    掲載料は刷り上り6ページまでは無料，超過分は1ページ当たり10,000円を著者負担とする．またカラー印刷を希望の場合は著者の実費負担（1ページ当たり約50,000円）とする．
13. 別刷
    別刷の実費は著者負担（1部250円．ただし50部以上の作成及びページ数が6ページ以上の場合は別途見積）とする．
14. 学会誌および本学会のホームページ上に掲載された論文等の著作権は日本肥満学会に帰属する．

2006年 4 月17日改訂
2008年 8 月25日改訂
2009年10月25日改訂
2010年 8 月25日改訂
2011年12月25日改訂
2012年 4 月25日改訂
2013年 8 月25日改訂
2016年10月 6 日改訂
2019年11月 1 日改訂
2020年 2 月19日改訂
2021年 4 月15日改訂
2021年 7 月 8 日改訂
2023年 6 月29日改訂

Presented by Medical*Online

著者のCOI申告書　※この申告書は著者（筆頭著者，共著者）1名につき1枚作成してください．

申告者は（ 筆頭著者 ・ 共著者 ）である．　※いずれかに○をしてください．

著 者 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文題名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊注意　・申告書は，筆頭著者及び共著者に関わらず著者全員の提出が必要です．
・企業・組織や団体とは，医学研究に関連する利益を目的とした企業，法人組織，団体．
・親族とは，著者全員の配偶者，一親等の親族，生計を共にする者．
・投稿論文に関連して，開示すべきCOI関係にある企業などを項目ごとに記載する．
（投稿時から遡って過去3年間以内のCOI状態を申告すること）
・本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます．第3者に対して個人の申告内容が開示されることはありません．各項目の詳細は本学会のCOIの指針および細則を参考にする．

	項　目	対象者	有無の記載（必須）	「有」の場合，企業名などを記載する
1	役員，顧問職への就任，報酬額 1つの企業・組織や団体から年間報酬額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
2	株式の利益 1つの企業から年間100万円以上，あるいは当該全株式の5%以上を保有する場合を記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
3	特許使用料 1つにつき年間100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
4	講演料 1つの企業・組織や団体からの年間合計50万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
5	原稿料 1つの企業・組織や団体からの年間合計50万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
6	研究費（治験，受託研究費，共同研究費など）・助成金などの総額 1つの企業・組織や団体からの研究経費を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
7	奨学（奨励）寄附金などの総額 1つの企業・組織や団体から，奨学寄附金を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
8	企業などが提供する寄附講座 企業などからの寄附講座に所属している場合に記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
9	旅費，贈答品などの受領 1つの企業・組織や団体から研究とは直接無関係な年間5万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	

（申告日）　　年　　月　　日

（申告者署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

一般社団法人日本肥満学会

キリトリセン

Presented by Medical*Online

投稿確認・同意書

日本肥満学会誌「肥満研究」に

著者名:

論文名:

を投稿するにあたり

1．症例報告等の，患者情報，遺伝子情報に関しては，プライバシーに配慮し，特定される可能性のある場合にはインフォームドコンセントを得たこと
2．本論文の内容は刊行物としては未発表であり，かつ他誌に投稿中のものではないこと
3．投稿は共著者の了承の上で行われること
4．本誌に掲載された論文の著作権は，日本肥満学会に所属し，同学会の採択するホームページ上に掲載すること，その他の二次的利用をすること

を同意します.

西暦　　年　　月　　日

責任著者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

所属名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

キリトリセン

Presented by Medical*Online